

富谷市と学校法人東北医科薬科大学との病院の 開設及び運営に伴う基本的事項に関する覚書締結式



令和7年度 富谷市決算・事業報告

図 財政課 ☎ 022-358-0619

紹介している事業等
等は一部となります。
市公式ホームページ上では行政
実績報告書を公開しています。



市公式
ホームページ



特別会計

会 計	収入済額	支出済額	内 容
市営墓地特別会計	1,834万円	1,815万円	墓地整備費、公債費償還など
国民健康保険特別会計	39億1,429万円	38億9,724万円	医療費の支給、特定健康診査など
介護保険特別会計	33億7,476万円	32億5,173万円	介護サービス給付費など
後期高齢者医療特別会計	6億2,800万円	6億963万円	後期高齢者医療広域連合への納付金など

水道事業会計

会 計	収入決算額	支出決算額	内 容
収益的収支	11億3,136万円	9億7,609万円	収入のほとんどは水道料金で、支出は受水費や配水および給水費、固定資産の減価償却費など
資本的収支	1億7,226万円	3億535万円	支出は配水管更新工事などの建設改良事業費や企業債償還金など

下水道事業会計

会 計	収入決算額	支出決算額	内 容
収益的収支	11億987万円	10億5,037万円	収入は下水道使用料などで、支出は流域下水道管理運営負担金や固定資産の減価償却費など
資本的収支	1億7,048万円	2億7,625万円	支出はマンホールポンプ場のポンプ更新工事の建設改良事業費や企業債償還金など

特別会計 水道事業会計 下水道事業会計の決算状況

健全な財政運営に努めています 財政健全化判断比率・資金不足比率

富谷市は、早期健全化基準を大きく下回り、昨年度に引き続き健全な財政運営を行っています。実質公債費比率は昨年度と比べ+0.4ポイントの▲1.2となっており、引き続き、県内市の中で最も健全な数値となっています。

なお、本市の昨年度の比率は、政令市を除く全国の一般市と特別区を合わせた795団体のうち、上位18番目でした。

健全化判断比率

一つでも早期健全化基準を超えた場合、財政健全化計画の作成が義務付けられるなど、自主的な改善努力による財政健全化が求められます。

資金不足比率

公営企業会計ごとの経営状況の深刻度を示す指標ですが、市の公営企業会計（水道事業、下水道事業）では、資金不足額は生じていないため、算定されませんでした。

両比率は、自治体の財政健全化度を判断する指標です。基準を超えた場合は、一般会計のほか特別会計や公営企業会計なども含めた財政健全化への取組が必要となります。

指標		指標の内容	富谷市	早期健全化基準
財政健全化判断比率	実質赤字比率	一般会計の実質赤字額の標準財政規模に対する比率 (一般会計の財政運営の深刻度を示す指標)	－	13.15
	連結実質赤字比率	全ての会計の実質赤字額の標準財政規模に対する比率 (地方公共団体全体としての財政運営の深刻度を示す指標)	－	18.15
	実質公債費比率	公債費・公債費に準じた経費の標準財政規模に対する比率 (資金繰りの危険度を示す指標)	▲1.2	25.0
	将来負担比率	地方債の残高のほか、将来負担すべき実質的な負債の標準財政規模に対する比率	－	350.0

※赤字比率や将来負担比率は算定されないため、「—」表示



令和7年度 富谷市決算を 報告します

令和7年度決算が認定

令和8年第3回富谷市議会定例会で、令和7年度決算が認定されました。皆さんに納めていただいた税金などがどのように使われ、まちづくりがどのように進められているかお知らせします。

令和7年度決算の概要

一般会計の決算は、歳入が256億9,153万円（前年比13.0%増）、歳出が240億2,862万円（前年比13.4%増）で、歳入歳出差引額（形式収支）は16億6,291万円となりました。この額から令和8年度に繰り越した事業に必要な財源4億7,235万円を除いた実質収支は、11億9,056万円の黒字となりました。この黒字分は、令和8年度の事業に充てるほか、令和8年度以降に市のお金が不足する場合の蓄えとして、令和8年度補正予算を通して基金に積み立てます。

歳入・歳出決算額の増額の主な要因としては、富谷市民図書館・サイエンスステーション・児童屋内遊戯施設を複合化した図書館等複合施設の整備等業務、小・中学校におけるIGAタブレット更新業務等の実施によるものです。

なお、一般会計を含む全ての会計決算において黒字となり、財政健全化判断比率では早期健全化基準を大きく下回るなど、引き続き健全な財政運営が図られております。

【一般会計の決算状況】

歳入	256億9,153万円 (227億4,296万円)
歳出	240億2,862万円 (211億9,221万円)
翌年度に繰り越すべき財源	4億7,235万円 (3億8,972万円)
実質収支	11億9,056万円 (11億6,103万円)

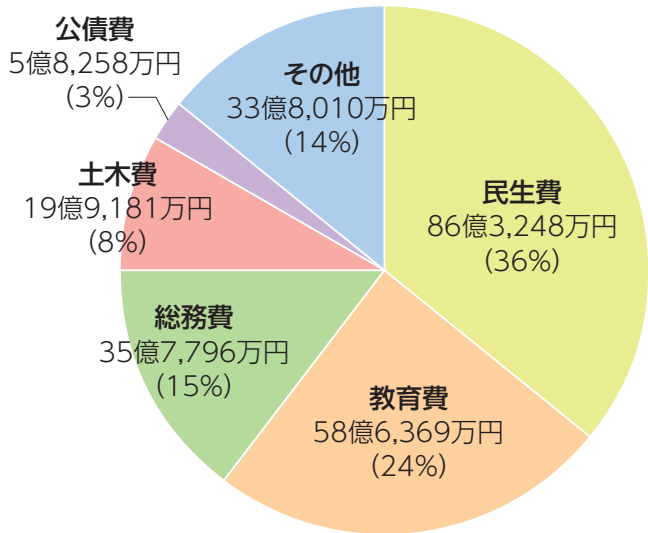
※（ ）は令和6年度の決算額です

一般会計 歳出 240 億 2,862万円

(前年度 211億9,221万円)

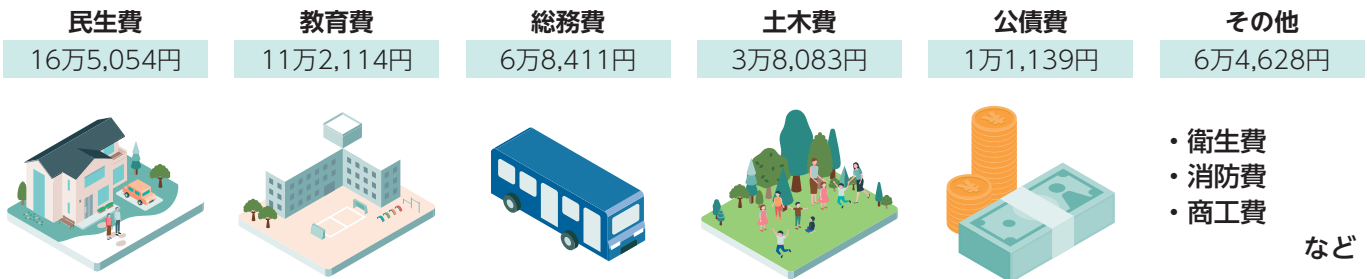
用語解説

- 民生費** 児童・高齢者・障害者福祉、医療費などの福祉全般の経費
- 教育費** 小中学校・幼稚園の管理、生涯学習やスポーツ事業などの経費
- 総務費** 防犯、交通安全、市民バスの運行などの経費
- 土木費** 道路の管理や改良、市営住宅、公園管理などの経費
- 公債費** 市が借りたお金やその利子を返還するための経費
- その他** 衛生費（健康増進やごみ処理などの経費）、消防費（消防や救急に関する経費）、商工費（商工業や観光に関する経費）、議会費（市議会の運営のための経費）、農林水産業費（農林水産業のための経費）など



市民1人当たりに換算すると

45万9,429円 (前年度 40万4,347円)



※R8.3.31現在の住民基本台帳人口52,301人で算出

一般会計 歳入 256 億 9,153万円

(前年度 227億4,296万円)

用語解説

自主財源

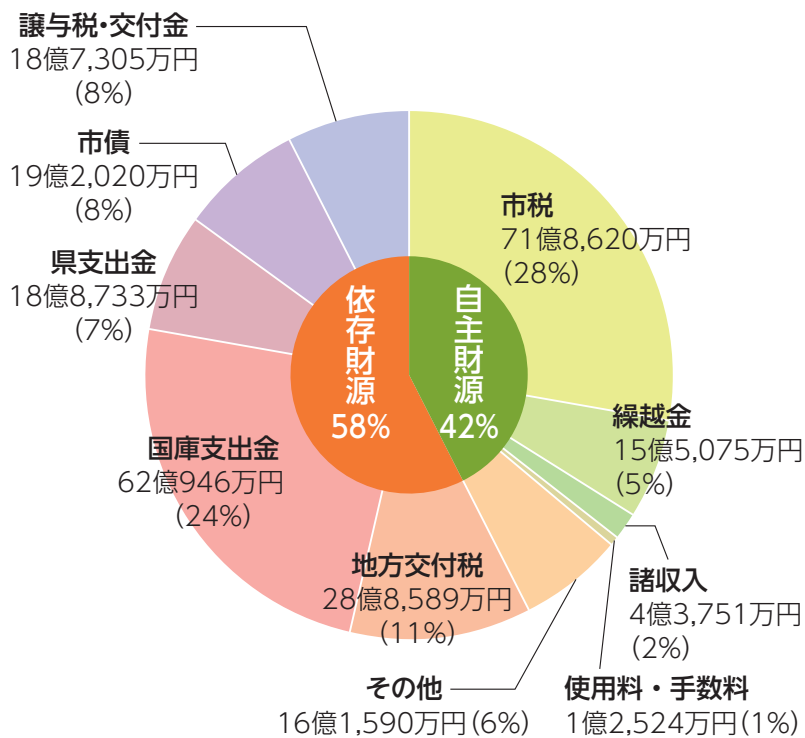
市税など、市が国・県に頼らず、自主的に調達できる収入

- 市税…市民の皆さんが納めた税金（市民税、固定資産税、軽自動車税など）
- 繰越金…令和6年度から令和7年度へ繰り越したお金
- 使用料・手数料…公共施設の使用料や各種証明書発行手数料など

依存財源

国や県の意思により交付される収入や市債など

- 地方交付税…全国どこでも同じサービスが受けられるよう、国が徴収した税金の中から配分されるお金
- 国・県支出金…特定の事業等のための財源として国や県が使い道を決めて交付するお金



市民1人当たりに換算すると

49万1,224円 (前年度 43万3,935円)



※R8.3.31現在の住民基本台帳人口52,301人で算出

令和7年度に 実施した主な事業

(1) 創造性豊かな教育環境のまちを創ります 不登校特例校西成田教室運営・維持管理事業

(教育総務課・学校教育課) 1,081万円

標準授業時数を確保し、学びの保障を担保した独自カリキュラムで少人数指導により運営しています。ミツバチ養蜂や採蜜体験のほか、野菜づくり、木工体験学習、凧作り教室を実施するなど、総合的な学習の時間の充実を図りました。

学校給食センター運営・維持管理事業 (学校教育課)

..... 6億8,061万円

40人程度の参加者を対象に応募による学校給食の試食会を2回開催しました。また、公式Instagramを開設し、日々の献立や見学に参加した市民の様子などを発信することにより、給食および学校給食センターへの理解と関心興味を深めました。

※物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金(5,225万円)を活用。

市立小・中学校コンピューター教育事業 (学校教育課)

..... 5億5,972万円

児童生徒用タブレットについて、県の共同調達に参加することでスケールメリットを図り、更新を行いました。教職員用パソコン・校務システム等の運用を



行い、学習環境と教育の質の向上を図りました。

※公立学校情報機器整備事業費補助金ほか(2億3,336万円)を活用。

(2) あらゆる世代が生きがいを感じて暮らせるまちを創ります

図書館等複合施設整備事業 (生涯学習課)

..... 27億4,429万円

シンボルマーク・ロゴタイプの公募を行い、多くの応募からロゴマークを選定したほか、工事現場見学会や富谷高校生との意見交換会、施設完成内覧会、ICタグ・メイカースペース等機器体験会を実施し、多くの市民の方が参加しました。

※都市構造再編集中支援事業費補助金ほか(24億8,327万円)を活用。

やすらぎパークとみや維持管理事業 (生涯学習課)

..... 3,130万円

パークゴルフ場および管理棟の維持管理、清掃美化に取り組み、利用者の快適な環境維持に努めました。また、広報とみや6月号と併せてパンフレットを全戸配布し、パークゴルフ場の周知と利用者の増加に努めました。



2. 教育と子育て環境を誇るまち！

(3) 伝統と文化を誇れるまちを創ります

民俗ギャラリー運営・維持管理事業 (生涯学習課)

..... 416万円

民俗・考古・歴史資料の収集、保存活用を図り、市民へ富谷の歴史や文化を広く周知しました。また、電磁材料研究所の協力による夏季の特別企画展「本多光太郎の功績展」や宮城県文化財課の協力による「発掘のパネル展」を開催し、企画展に合わせて民俗ギャラリーカードを発行しました。

(4) 地域で子育てを支えるまちを創ります

こどもの学習・生活支援事業 (子育て支援課) ... 357万円

ひとり親家庭や経済的事情等により、十分な学習環境が整っていない家庭の小学4年から高校生年代の子どもを対象に、週1回1会場で安心して過ごすことができる居場所を提供し、子どもの学習と生活の向上を図るよう支援を行いました。

※宮城県母子家庭等対策総合支援事業費補助金(178万円)を活用。

こども家庭センター事業 (子育て支援課) 1,359万円

4月1日から新たに子育て支援課(児童福祉機能)と、とみや子育て支援センター(母子保健機能)に、こども家庭センターを設置し、全ての妊産婦や子育て世帯



および子どもが安心して生活できるよう一体的に支援を行いました。

※重層的支援体制整備事業交付金利用者支援事業(1,133万円)を活用。

地域における不登校の子どもへの切れ目ない支援事業

(子育て支援課) 952万円

こども家庭庁が実施するモデル事業に東北で唯一採択を受け、こども家庭センター内に不登校支援コーディネーターを配置し、不登校相談窓口を開設しました。※地域における不登校の子どもへの切れ目ない支援事業委託金(952万円)を活用。

子どもにやさしいまちづくり事業 (子育て支援課)

..... 266万円

市民や関係機関、子どもたち等から意見を伺い、富谷市子どもにやさしいまちづくり条例を制定したとともに、子どもにやさしいまちづくりフォーラムを開催し、周知啓発に努めました。※幼児期までのこどもの育ちに係る基本的なビジョン推進事業委託金(248万円)を活用。

妊婦のための支援給付事業 (子育て支援課) ... 3,578万円

妊婦等に対して、母子健康手帳交付時と妊娠8カ月頃、出生後に面談等により情報提供や相談支援等を行うとともに、妊娠時および出産した子どもの数に応じ給付金を支給し、妊婦等の身体的、精神的ケアおよび経済的支援を実施しました。

※妊婦のための支援給付交付金ほか(3,315万円)を活用。

(1) 富谷で働くことにやりがいを実感できるまちを創ります

移住支援事業 (企画政策課、産業観光課、農林振興課)

..... 4,801万円

新たに地域おこし協力隊・ビジネスクリエイターとして2人、農業クリエイターとして2人を追加して委嘱しました。また、移住・定住に向けたオンライン相談の実施や、東京で開催された「みやぎ移住・交流フェア」に参加し、本市のPRとともに移住相談を行い、移住促進を図りました。



富谷市まちづくり産業交流プラザ運営・維持管理事業

(産業観光課) 3,220万円

第8期富谷塾の塾生は211人となり、定例富谷塾などの各種イベントに延べ1,698人が参加しました。また、起業や事業連携に関する個別相談やマッチングを行うなど、段階に応じた伴走支援を展開し、起業プログラム等を通じて新たに12件の起業が実現しました。施設のシェアオフィス入居率は約113パーセントと極めて高い稼働実績となりました。

1. 暮らしを自慢できるまち！

(3) 安全で自由に移動できる便利なまちを創ります

新公共交通システム推進事業 (企画政策課) 340万円

新たな基幹公共交通の導入に向けた検討の一環として、「都市型自走式ロープウェイの導入可能性調査」を実施しました。調査で想定した2ルートにおける地形条件や既存インフラとの関係など制約条件等を整理・検証し、現在の地上要件において、物理的に敷設可能という結果を得ました。



提供: Zip Infrastructure (株)

市民バス運営事業 (企画政策課) 6,179万円

西友富谷店閉店後の買い物等の利便性向上のため、ひより台地区からイオン富谷店まで乗り継ぎなしで行くことができるよう、6月2日から路線を延伸したほか、国の交付金を活用してバスロケーションシステムを導入し、スマートフォン等によりバスの走行状況等が把握できるようサービス向上を図りました。

※新しい地方経済・生活環境創生交付金(66万円)を活用。

(2) “とみやシティブランド”で自慢したくなるまちを創ります

農作物有害鳥獣等駆除事業 (農林振興課) 2,033万円

農作物被害防止対策として23人の農家に対して電気柵等の設置助成を行いました。また、クマの出没防止対策として、クマ対策誘引木伐採作業業務委託を行い、402本の伐採を行ったほか、箱わな4基を購入し、クマ9頭を捕獲しました。※指定管理鳥獣対策事業交付金(26万円)を活用。

発酵のまちづくり推進事業 (産業観光課) 1,710万円

10月11日、12日に「第15回全国発酵食品サミットとみや」を開催し、発酵をテーマにした講演会やワークショップを実施したことにより、市民の健康意欲の増進を図りました。



※市町村振興総合補助金(750万円)を活用。

スイーツステーション運営事業 (産業観光課) 654万円

スイーツステーションの開所に向け、施設全体の運営事業者を決定するとともに、スイーツカフェの事業者を決定しました。事業者と連携のもと、必要備品の整備を行ったほか、チラシ作成、ホームページやSNSの立ち上げを行いPRに努めました。

(4) 住み心地の良さを実感できる豊かなまちを創ります

一般公園維持管理事業 (都市計画課) 1億4,254万円

公園施設長寿命化計画に基づき、3公園7基の遊具の更新を行うとともに、定期的な巡回や点検等による修繕箇所の早期発見と対応により事故を未然に防止し、安全な施設の運用に努めました。



大亀山森林公園維持管理事業 (都市計画課) ... 2,700万円

大亀山森林公園の持続的な魅力向上を図るため、NPO法人SCRを主体として、年間を通してのイベント開催や、管理棟内に「もしもしcafe」を設けて軽食の提供を行うとともに、やすらぎパークとみやとの一体的な活用を推進しました。

河川維持管理事業 (都市整備課) 4,869万円

準用河川沼田川と荻又川の堆積土砂の撤去や、調整池等19カ所の除草を実施し、河川の災害防止と環境保持に努めました。また、富谷市クマ緊急対策パッケージとして、市内を流れる市管理の4河川と、国県が管理する6河川の藪の刈払いを実施しました。

※緊急浚渫推進事業債(1,320万円)を活用。

(1) 日常生活が安全で包まれたまちを創ります
黒川地域行政事務組合（消防）負担金事務
（防災安全課）……………7億8,438万円

4市町村共同で事務処理を行う消防事務について、その費用を負担しました。消防指令センターが令和8年2月に消防本部新庁舎へ移設され、予定より早期に運用開始となったほか、救急サービスの向上に向けて、コンフォートサイレン搭載車両が富谷消防署に配備されました。



防犯設備整備事業（防災安全課）……………469万円

市町村振興総合補助金を活用して、各中学校区に1台ずつ、犯罪防止に効果的な防犯カメラを5台設置し、犯罪のない安全安心なまちづくりを推進しました。

※市町村振興総合補助金(100万円)を活用。

道路交通安全施設整備事業（都市整備課）……4,207万円

防護柵、カーブミラー、区画線および道路照明灯の交通安全施設の適切な設置や補修を行い、道路利用者の安全確保に努めました。

(2) 持続可能な都市環境がブランドになるまちを創ります

リサイクル推進事業（生活環境課）……………721万円

回収した缶・鉄類・容器包装等の資源物を適正に売却したほか、粗大ごみ、小型家電等については、清掃センター内で手選別を行うなど効果的に再資源化を図りました。また、サントリーグループと締結した水平リサイクルに関する協定に基づき、使用済ペットボトルの全量引渡しを開始し、新たなリサイクルの仕組みを構築しました。

ゼロカーボンシティ推進事業（企画政策課）……………371万円

市地球温暖化対策実行計画に基づき、市役所や小・中学校、市営住宅のLED化やユートミヤのNearly ZEBの取得など、施設の脱炭素化に取り組みました。また、中学生より提案されたグリーンカーテンの普及に向けた取組を開始し、市公共施設11カ所へ設置して温度上昇の抑制とCO₂削減、各家庭等への普及・啓発を行いました。

※みやぎ環境交付金(27万円)を活用。



(1) あらゆる世代が元気に暮らす健康自慢のまちを創ります

高齢者補聴器購入費助成事業（長寿福祉課）……82万円

加齢に伴う難聴により日常生活に支障のある高齢者に対し、補聴器の活用を通じて社会参加を促進し、認知症やフレイルの予防につなげることを目的として、対象を拡充し補聴器購入費助成を行いました。

高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業（健康推進課）……………485万円

健康寿命の延伸を図ることを目的に、高齢者の医療・介護データ等の分析により健康課題を把握し、専門職による疾病予防や介護予防等のアプローチを行う事業を、富ヶ丘・日吉台圏域に加え、富谷中央・あけの平圏域でも実施しました。



感染症予防事業（健康推進課）……………5,837万円

予防接種法に基づき、高齢者インフルエンザ、肺炎球菌、新型コロナウイルス、令和7年度から新たに带状疱疹に係るワクチン接種を実施し、接種費用の一部助成を行うことで、希望する方が安心して接種を受けることができる環境整備に努めました。

総合病院誘致事業（病院立地推進室、健康推進課）……………2億7,946万円

新病院誘致実現に向けた取組の一環として、病院用地として取得する予定面積のうち、残りの約20%を取得し、病院用地の購入が完了しました。

市民の生命と健康を守る上で、長年かつ喫緊の課題である救急・急性期医療を担う総合病院の誘致・立地の実現に向けて、令和7年6月、市単独で誘致病院事業者候補者公募を実施しました。また、富谷・黒川地域総合病院立地推進協議会を設立し、富谷・黒川地域の4市町村が一体となって病院誘致を推進しました。

同年8月に学校法人東北医科薬科大学を誘致病院事業者候補者に決定し、10月、「病院の開設及び運営に伴う基本的事項に関する覚書」を締結しました。令和8年1月には、学校法人東北医科薬科大学と本市で連絡協議会を設置しました。

医療連携支援等プラットフォーム構築事業（病院立地推進室）……………19万円

本市が誘致する新病院の立地を富谷・黒川地域全体の医療提供体制の向上と医療資源の最適活用につなげる「新たなモデル」とすることを目的に、富谷・黒川地域の4市町村が、黒川医師会、公立黒川病院などと連携・協力し、令和8年2月に「医療連携支援等プラットフォーム準備会」を開催しました。また、東北3県の地域医療連携に係る視察・調査を実施しました。

4. 市民の思いを協働でつくるまち！

(3) 健全なまちづくりに向けてみんなが協働するまちを創ります

広報・広聴事業（市長公室）……………1,860万円

広報紙の紙質と紙厚を見直し、コスト抑制を図るとともに、広報とみや6月号から表紙と特集デザインを刷新し、見やすく親しみやすい紙面づくりに取り組みました。また、8月号からは、盲ろう者向けのテキスト情報の提供を開始し、情報のバリアフリー化を拡充しました。市公式LINEでは、利用者が必要な情報を選択して受け取れる「受信設定」の機能を追加し、利便性の向上を図りました。

市民協働推進事業（市民協働課）……………15万円

とみやわくわくミーティングは、幅広い世代の参加により4回開催し、まちづくりに関わるテーマについて情報共有や交流を図り、市民の声が届くまちづくりの推進に寄与しました。また、市民活動団体等を対象に、専門相談員による相談会や交流会を開催したほか、市民センターの使用料免除や活動の周知など、新年度からの活動支援の充



実に向けて取り組みました。

長期総合計画推進事業（企画政策課）……………864万円

市制施行後に策定した市総合計画が終期を迎えるため、令和8年度からの10年間で計画期間とする第2次富谷市総合計画の基本構想・前期基本計画を策定しました。策定にあたっては、総合計画審議会やワークショップの開催、パブリックコメントの実施により広く市民の声や提案を聞きながら、計画の策定に至りました。

組織マネジメント事業（総務課）……………1,110万円

職員採用パンフレットを作成し、各種就職セミナーにおいて本市で働くことの魅力を発信するとともに、幅広く公務員志望者の掘り起こしを行い、人材確保に努めました。また、令和7年4月から職員の名札を「氏」のみのひらがな表記に変更し、職員研修と連動したカスタマーハラスメント対策を実施しました。



3. 元気で温かい心で支えるまち！

(2) 高齢者も障がい者も安心して暮らせるまちを創ります

障がい者就労支援事業（地域福祉課）……………1,840万円

地域活動支援センターについては、社会福祉法人富谷市社会福祉協議会と令和7年度から新たに5年間の指定管理者協定を締結し、「ひきこもり状態にある障がい者への通いの場」としての機能を拡充、社会参加の促進を図りました。平日通所の活動においては、一人一人の将来の希望や生活課題等を確認し、個別支援計画の作成と定期的なモニタリングを踏まえた支援を実施しました。

精神障がいにも対応した地域包括ケアシステム事業（地域福祉課）……………44万円

市の健康推進員を対象に厚生労働省が推進する「心のサポーター養成研修」を開催し、43人が受講しました。また、在宅精神障がい者および精神保健に関する課題を抱える方の早期発見・治療および再発防止、保健医療福祉サービスの適切な利用の助言等の支援を目的とした精神科医による「こころの相談（精神保健福祉相談）」を年6回実施し、20代～70代までの17人から相談がありました。



※自死対策強化事業補助金(11万円)を活用。

高齢者・障がい者交通対策事業

高齢者分（長寿福祉課）……………2,952万円

障がい者分（地域福祉課）……………879万円

70歳以上の方や60歳以上の免許返納者、18歳以上の障害者手帳所持の方を対象として、高齢者・障がい者外出支援乗車証「とみぱす」を交付しました。また、日常生活の利便と社会活動の範囲拡大を図るため、タクシー利用料金の一部助成や自動車燃料費の一部助成を行いました。



(3) 身近なコミュニティがみんなの支えになるまちを創ります

重層的支援体制整備事業（長寿福祉課）……………1,296万円

複雑化・複合化した支援ニーズに対応する包括的な支援体制を整備するため、3年間の移行準備期間を経て、令和7年度より重層的支援体制整備事業を開始しました。既存事業の移行・拡充分と新規事業を合わせて、包括的相談支援（属性を問わない相談支援）や参加支援、地域づくり支援を一体的に実施しました。

※重層的支援体制整備事業交付金(972万円)を活用。

皆さんの声 が届くまち とみや

／ちよつと聞いて／ 私の声



富谷市公式キャラクター
「プルベリッ娘とプルビヨ」

(キリトリ)

富谷市では「住みたくなるまち日本一」の実現を目指して、市民の皆さんの声が届く市政を心がけております。市政に対するご意見・ご提案がありましたら、皆さんの声をお聞かせください。

市民の皆さんからいただいた声は、すべて市長が目を通しており、今後の市政運営に生かしていきます。

また、ご意見に氏名・住所等の記載がある場合は、後日、回答書をお送りいたします。匿名の場合やご連絡先の記載がない場合は、お返事できませんのでご了承ください。

※教育委員会や議会事務局など、市長部局以外に関するご意見につきましては、制度上、市長から回答できない場合がありますので、ご了承ください。

問市長公室 秘書広報担当 ☎022-358-3151

(キリトリ)

やま折り



切手を貼らず
に投函してく
ださい。

差出有効期間
2027.10.31
まで



料金受取人払郵便

富谷市富谷坂松田30番地

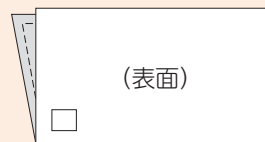
富谷市長 行
(市長公室 秘書広報担当)

981-3390

(キリトリ)

- ・市長から回答いたしますので、住所・氏名をご記入ください。
- ・内容により、早急に対応が必要となる場合などには、担当課から直接ご連絡を差し上げることがあります。
- ・市政に対する疑問解消や市民間の情報共有などのために、市長からの回答と市民の皆さんからいただいたご意見の要旨を公表する場合があります。公表の可否をご記入ください。

■封筒の作りかた



キリトリ線で切り離して、この面を内側に二つ折りにし、外周ののりしろ部分にのり付けして、貼り合わせてください。

(キリトリ)

富谷市長へ

について

※のりしろ部分以外に、のりがつかないようにお気をつけください。

(キリトリ)

のりしろ
(キリトリ)

のりしろ

住所	〒	—	☎	
(ふりがな) 氏名			性別	男・女
			年齢	歳

市長から回答した際、ご意見の内容を要約し、市公式ホームページなどで公表してもよろしいでしょうか。(個人が特定できる内容は掲載しません。)

- ☐ 可
☐ 不可

のりしろ